

## 【NEWS RELEASE】

2021年4月5日

各位

株式会社三井住友銀行

SMBC－JICAサステナブルファイナンスフレームワーク策定について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）と独立行政法人国際協力機構（理事長：北岡 伸一、以下「JICA」）は、お客さまの ESG（※1）/SDGs（※2）への取組サポート並びにローン市場におけるサステナブルファイナンスの普及促進を目的として、国外で協調融資（シンジケーション）を実施する際の「SMBC－JICAサステナブルファイナンスフレームワーク」（以下「本フレームワーク」）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

民間金融機関と開発金融機関である JICA が連携し、共通の事業効果測定方法・モニタリング手法を用いることで、お客さまが創出する開発インパクトを評価するサステナブルファイナンスフレームワークの策定をするのは、国内初の取組となります。

また、本フレームワークが関連原則（※3）と整合的であることについて、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）より、第三者意見（※4）を取得しています。三井住友銀行では本フレームワークを適用して融資契約を締結する各案件に対し、その実効性を担保するために年次レビューを実施する予定です。

なお、三井住友銀行と JICA は、本フレームワークを活用し、この度、エジプトの大手国営商業銀行である Banque Misr SAE との間で、同国における女性経営者をはじめとした中小零細事業者向け貸付を資金使途とした、融資契約を調印しました。本融資は、JICA が海外投融資を再開後、中東・北アフリカで本邦民間金融機関と協調融資を実施した第一号案件となります。

三井住友銀行は、ESG/SDGs を重要な経営課題と捉えられているお客さまを金融面から積極的にサポートすること、また世界各国の地域経済の活性化をサポートすることで、持続可能な社会への貢献を進めてまいります。

## （※1）ESG

ESG とは環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の頭文字をとったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

## （※2）SDGs

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

(※3) 関連原則

- ・国際資本市場協会（ICMA）が公表している「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」、「サステナビリティボンド・ガイドライン」
- ・ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等による「グリーンローン原則」、「サステナビリティ・リンクローン原則」（但し、「サステナビリティ・リンクローン原則」に基づいた個別案件を組成する際は、資金用途を特定する代わりに、貸し付け条件に紐づいたサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットを設定するもの）

(※4) 第三者意見

本フレームワークを関連原則において共通する4要素である、①調達資金の用途、②プロジェクトの評価と選定のプロセス、③調達資金の管理、④レポーティングの視点から、その整合性について評価を実施したもの。

以 上